

罹災証明書・被災証明書を 申請される方へ

家等の被害状況を写真で記録しましょう

罹災証明書や被災証明書を申請するにあたり、片付けや修理の前に、家等の被害状況を写真に撮って保存してください。支援等を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、必要になる場合がありますので、事前にご確認ください。

ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。

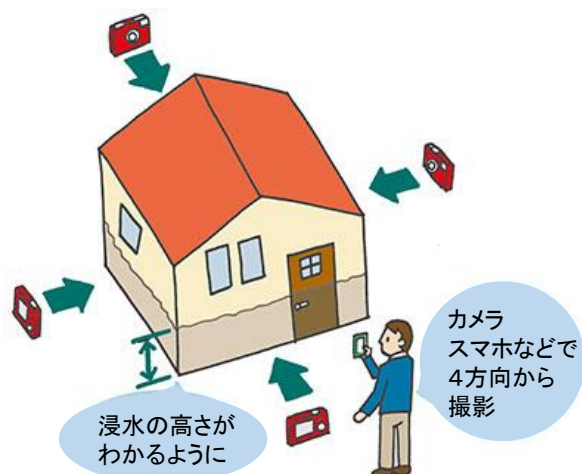
家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮るようにしましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮りましょう。
※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真をとると、被害の大きさが良くわかります。

家の中の写真の撮り方

- 家の中の被害状況写真は、
①被災した部屋ごとの全景写真
②被害箇所の「寄り」の写真を撮影しましょう。
＜想定される撮影箇所＞
内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバス など

<イメージ図>



★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。

